



「特集」

技

既存の和の雰囲気と洋の新空間の融合 ～全外壁と屋内の部分的なリフォーム～

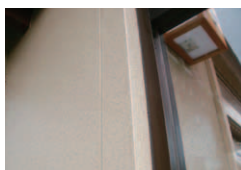
●純和風の重厚な佇まい

水見の鳥尾海岸にほど近く、耳を澄ませば潮騒が聴こえてきそうな場所に建つ中田様のお宅を訪問した。純和風・木造二階建のお宅は、真新しいサイディングと白く塗られた垂木の意匠が印象的。築二十五年の重厚な佇まいを生かしながら外壁のリフォームが行われた。また海風が強いため、玄関前に風除室を設けたこともポイントだ。

「もともとの外壁は真壁の白漆喰でしたが、柱の木やせで柱と白漆喰の割れ目から雨漏りが生じていました。すべての白漆喰の下地を処理し、その上から潮風にも強い窯業系のサイディングを張りました。風除室は玄関から室内への風の侵入を防ぎ、防寒にも役立っています」と施工担当者は語る。

●ワンフロアの広いLDKに

屋内のリフォーム箇所は、一階のLDK、



和風情緒を感じさせる外観。雨漏りの原因になった白漆喰の外壁にサイディングを張った。



▲ダイニングキッチンには、大きめのシンクとIHクッキングヒーター、食洗器を装備した対面式キッチン。



▲海風を防ぐために風除室を玄関前に新設。



▲ユニットバスで心身をゆっくり癒せそう。



▲リビングとダイニングキッチンを合わせると18帖の開放的なスペースが出現。アルミ引き戸で仕切れることもできる。



トイレ、浴室、二階の和室。家族の生活の中心となるLDKのリフォームのポイント。和から洋空間への変更、収納スペースの確保、採光を考えた明るい空間づくり。そこで、畳敷きの八帖の和室と板張りの十帖のダイニングキッチン、ブラウンのフローリングを敷き、十八帖の明るくて広々としたワンフロアにリフォーム。中央には収納式の間仕切りとして、半透明のアルミ引き戸を三枚配置して、効率良く冷暖房ができるようになっていく。また、来客時にもプライベートな空間を確保できるように工夫。壁のクロスにホワイト、クローゼットと引き戸、床にはブラウンが配色され、明るいなかにも落ち着いた雰囲気が出されている。

ダイニングキッチンには、対面式キッチンを採用し、上部に吊り戸棚を設けず、すっきりとさせているのが特徴だ。対面式キッチンから背後の冷蔵庫や食器棚への動線もスムーズで、設計の技が光る。IHクッキングヒーターや食洗器を装備しており、仕事を持つ奥様を頼も

しくサポート。リフォーム前はプロパンガスを使用していたが、オール電化によって家計も助かっていると奥様は目を細める。

●洋式トイレを二つ並べてレイアウト

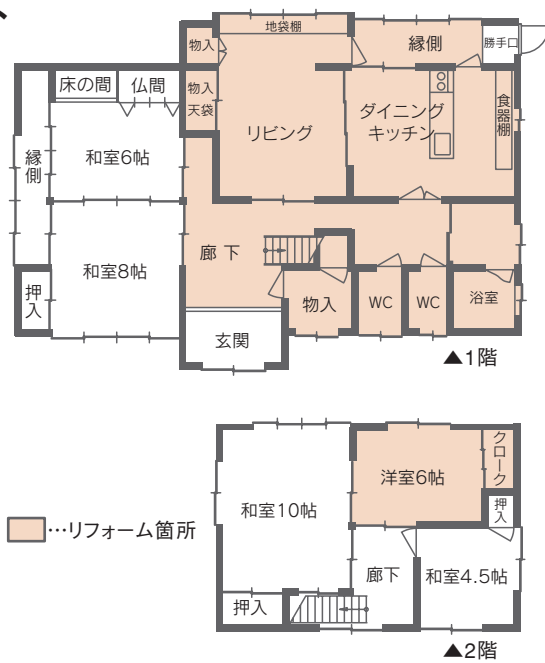
以前のトイレは水洗ながら、浄化槽による汲み取り式だった。地区二帯で下水道工事が行われたことも今回の大規模なリフォームのきっかけになったという。

「シロアリ駆除と防蟻処理を施し、この部分の床をすべて張り替えました。ポールを置いてもらいませよ」と施工担当者は胸を張る。

●毎日、仕事場から家に帰るのが楽しみ

二階の和室六帖をフローリングの洋室にリフォームし、高校生のお子さんの部屋にあてるなど、純和風の雰囲気を大切にしながら、現代の生活スタイルに合わせて、洋の空間を設けた中田邸。設計を何度も変更し、満足いくものに仕上がった。

「すごく快適になりました。部屋のイメージがこんなに変わると思っていなかった。毎日、仕事場から家に帰るのが楽しみで、夕食の支度もスムーズ。『〇〇パーセントの出来で満足しています』という奥様の言葉が家族全員の思いを代表している。



中田 泉様

「こんなに素敵に変わるんだ」

雨漏り、屋根・床の傾きなど、築二十五年の傷みがあちこちから出始め、なんとかしなくてはと思っていた矢先、下水道がこの地区に伸びてきました。そこで水まわりを含めて、リフォームしようということになりました。水まわりや柱・窓の位置など、難問も山積みでしたが、設計の方が何度も図面を引き直してくださり、「こんなに素敵に変わるんだ」というのが完成後の第一印象でした。仕事に携わっていたいた皆さんに心から感謝しています。



▲1階に2つ並べた洋式トイレ。ゆとりある空間が心地良い。



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304

今月のオーナー訪問